

## 平成20年度夢づくり協働推進事業の実施状況 17

### 事業名

都市住民との交流による中山間地域の活性化

### 事業の概要

過疎化・高齢化が進み、さらなる集落機能の低下、耕作放棄地の拡大が進みつつある中山間地域では、地域の担い手が不足し、地域住民だけでは地域コミュニティの維持、地域資源の保全が困難な状態となっている。



そこで、都市と農山漁村の交流に関心を持つ都市住民と地域住民が協働し、地域の課題解決策や活性化方策を検討し、都市住民との交流により中山間地域の活性化を図る。

また、地域の担い手（体験指導者、地域案内人）を育成し、都市住民との交流推進に向けて地域の受け入れ体制の構築を図った。

### 協働の主体、役割分担

協働の主体	役割分担
地域住民、都市住民、旅行者、市町、県民局（農林水産事業部）	中山間地域検討会・交流会の企画、開催 各地域との連絡調整（市町） 都市住民に向けての情報発信、体験指導者研修会の開催（県民局）

### 実施状況

期日・場所	内容
モニターツアーの実施	都市住民と地域住民が交流し、地域の活性化方策を探る内容を体験プログラムの中に組み込んだモニターツアーを実施した。
	①新見モニターツアー（平成20年11月11日～12日） 参加人数：24人 体験内容：そば打ち・果物の収穫・キムチ作り体験、伝統料理の昼食・交流会、自然観察等
	②有漢モニターツアー（平成20年12月6日） 参加人数：51人 体験内容：餅つき・味噌作り体験、酒蔵見学 直売所での買い物等
	③真鍋島モニターツアー（平成21年1月31日） 参加人数：39人 体験内容：海岸清掃活動、しまべんで昼食・交流会 島内散策、よもぎ餅作り体験等

中山間地域検討会  
体験指導者研修会



モニターツアーの成果を基に、体験指導者、地域住民、旅行業者をまじえ、今後の検討、意見交換等を実施した。

- ・参加者(関西の都市住民)のアンケート
- ・旅行業者から見たモニターツアーレポート報告

- ①平成20年12月8日 新見市役所  
参加人数：8人 (新見モニターツアー検討等)
- ②平成21年1月19日 県民局高梁支局  
参加人数：6人 (有漢モニターツアー検討等)
- ③平成21年2月26日 県民局井笠支局  
参加人数：5人 (真鍋島モニターツアー検討等)

〈主な意見等〉

- ・年間を通じたメニュー作成と体験料金の明確化が必要である。
- ・企画提案にあたっては、採算面から35名以上で実施できるツアーが求められる。
- ・受け入れ窓口の一本化とコーディネーターの存在が必要である。

成果・効果

- 1 地域住民が主体となった中山間地域交流会を開催し、都市住民との交流が推進された。
- 2 旅行業者をまじえた研修会の開催により、専門家の意見を参考とすることで、体験指導者の資質の向上が図られた。
- 3 受入地域内のネットワーク強化が図られるとともに、旅行業者との企画連携等のルートが深まるなど受入体制の整備が進み、今後は地域住民が主体となって地域間交流を行える体制が整ってきた。